

EXPO'70パビリオンを見学

近畿ブロック連絡会議を開催

さる平成28年9月29日（木）、大阪府中小企業組合士協会の主催により、近畿ブロック中小企業組合士協会連絡会議（京都府・兵庫県・大阪府の各協会が参加）を開催しました。

会議に先立ち、大阪モノレール万博記念公園駅集合後、万博記念公園に入園、EXPO'70パビリオンを見学しました。2つのグループに分かれて、それぞれガイドの説明を受けながら、1970年大阪万博開催当時に関する展示資料を見学しました。その後、公園内を移動し、昨年開業したばかりのエキスポシティを見学後、ホテル阪急エキスポパークに移動し、連絡会議を実施しました。



まずはじめに①全体会で各府県における協会の活動状況の報告があり、続いてAからDまで4つのグループに分かれて「組合事務局組合士が抱える課題とその対策について」、①経済事業の停滞、②組合員の減少、③組合役職員の処遇改善の3つの課題をテーマにグループディスカッションを実施しました。各グループで出された意見は次のとおりです。

Aグループ：経済事業については、ほとんどの組合で停滞しているが、横ばいで推移し、健闘しているところもある。組合員数については大方の組合でピーク時の半数まで減少しているが、ピーク時は170社で現在も130社と健闘している業界もあり、組合が存在していたから他の業界よりも事業者数の減少が抑えられているといった意見があった。組合職員の処遇について、外国人の職員がいる組合もあり、国籍や人種による差別もなく採用しているとのことであった。

Bグループ：特に組合員数の減少について、組合員数が増えている組合もあり、減少ばかりしているという先入観を持つべきでないことが分かった。

Cグループ：特に組合役職員の処遇改善について、自己評価表を職員に配布し、理事長による面談を経て理事長を含め役員3人で採点し人事考課を行っている先進的な組合もあった。

Dグループ：本グループでは協同組合の上部組織である連合会や外国人技能実習生受け入れ事業を実施している組合が2組合あり、それぞれ、数百人、数千人規模での受け入れの実績があり、むしろ組合員数が増加しているとのことであった。

連絡会議の後、大阪府中小企業団体中央会西田専務理事、足立連携支援部長が懇親会に出席され、盛況のうちに終了しました。

